



2006年4月27日

**Trent 500 エンジンをインドで初めて受注
～ キングフィッシャー航空と総額5億ドル (585億円) の契約～**

【英国 2006年4月24日】 民間航空、防衛航空、船舶、エネルギー各分野の世界市場において事業展開するロールス・ロイス社（本社：英国ロンドン、CEO:サー・ジョン・ローズ、以下「ロールス・ロイス」）は、インドのキングフィッシャー航空（Kingfisher Airlines）から、同社のエアバス A340-500 型 5 機の発注に伴い、Trent 500 エンジンを受注したことを発表しました。長期的なアフター・マーケット・サービス契約 TotalCare®を含む同契約は、約5億ドル相当（585億円）となります。

Trent 500 エンジンは、エアバス A340-500/600 型長距離旅客機に独占的に搭載されるエンジンであり、2002年から現在まで、15社、130機を超える旅客機に採用されています。今回、キングフィッシャー航空が選定した A340-500 超長距離用 4 発ワイドボディ旅客機には、推力 53,000 ポンドの Trent 500 エンジンが搭載されます。なお、同シリーズの A340-600 機向けには、推力 56,000 ポンドの Trent 500 エンジンが搭載されています。

TotalCare®は、部品交換など広範囲のアフター・マーケット・サービスを、飛行時間当りの定額費用で契約するもので、トレント・エンジンを選定する7割のお客様が利用しています。

今回の契約にあたり、キングフィッシャー航空のビジャイ・マリヤ（Dr. Vijai Mallya）会長兼社長は、次のように述べています。「インドの航空会社として初めてトレント・エンジンの採用を決め、ロールス・ロイスとのパートナーシップを結ぶことができたことを嬉しく思います。トレント・シリーズのエンジンは、信頼性の高い最新技術と優れた稼働効率を有したエンジンです。エアバスとロールス・ロイスの最良のコンビネーションをもって、当社をご利用いただくお客様に世界水準のサービスを提供していくことができます。」

また、ロールス・ロイスの民間航空事業部門社長マイク・テレット（Mike Terrett）は次のように述べています。「トレント・エンジンを選定いただいたことで、世界で最も早いスピードで拡大する市場の一つであるインド航空業界での地歩が確かなものとなりました。今後とも、キングフィッシャー航空が切り開いていくインド航空市場の拡大に力をあわせて取り組んでまいります。」

なお、キングフィッシャー航空では、ロールス・ロイスが主要株主であるインターナショナル・エアロエンジン（IAE）製 V2500 エンジン搭載の短距離用双発機 A320 を既に運行しています。

以上